

別紙2-2

項 目	取 組 結 果	今後の取組計画
●自動車公害対策	<ul style="list-style-type: none"> ●排ガス量の詳しい実態を把握していないが低公害車増で低減 ◆下請け業者の大阪府流入適合車導入指導（低排ガス車2台増車1台減車） ◆アイドリングストップの徹底 下請け業者に啓発（低公害車導入指導） 	<ul style="list-style-type: none"> ●低公害車の使用を下請け業者に指導 ●継続的に実施
●化学物質対策	<ul style="list-style-type: none"> ●雨水排水の汚染は無し ◆製品付着防止剤(植物油系)の代替使用 ◆付着防止剤の使用量微増 ◆PRTR法届出説明会へ出席 	<ul style="list-style-type: none"> ●鉱物油の使用を無くす（顧客へ進めていく） ●付着防止剤の噴霧回数を可能な限り少なくする（継続的に実施）
●エネルギー対策 (地球温暖化対策)	<ul style="list-style-type: none"> ●製品製造数量減により(稼働率の低下) ●前年度対比燃費は5.65%減少 ●営業車の燃費前年度に対して14%低減 ◆燃料油の使用量は前年対比1.25%減少 ◆製造工程燃料油の使用量微増 ◆電力使用量が12.1%減少(対前年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ●原材料の含水比低減により燃料油使用量を削減（継続実施） ●営業車の効率化を促進する(継続実施)
●廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> ●前年度に対しコピー用紙の使用量減 ◆適正処理の徹底(産廃の減量化) ◆コピー用紙の使用量1.2%減 ◆コピー用紙の両面使用 ◆産廃処分微減(対前年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ●廃油等の減量化 ●ペーパーレス化の推進（継続実施） ●リサイクルペーパー使用を進める
●環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> ●ISO14001の更新 ◆環境マネジメントシステムの運用 ◆環境非常時訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境マネジメントシステムの適正な運用（継続的に実施）
●環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ●環境保全に関して社員教育を実施 ◆ISO14001に関して社外監査OK ◆社内資料で啓発した(継続して行く) 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境保全に関する社員教育の徹底を図る(継続的に実施)
●地域社会活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民や行政が行う環境保全活動に参加努力する ◆兵庫県主催の講演会への出席 ◆廃掃法説明会出席 ◆ひょうご環境保全連絡会阪神支部先進地視察への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民や行政が行う環境保全活動に積極的に参加する(継続的に実施)